

学習者と指導者の双方の成長を促す評価技法 —教育的ドキュメンテーションを取り入れた保育実践—

白石 淑江 氏 (愛知淑徳大学福祉貢献学部 教授)

講演概要

探究的学習では、学習者が学習を通じて得られた考えや生じた問いを考察する省察が重要である。高等教育でもポートフォリオ評価等の形で取り組みが進んでいるが、e ポートフォリオなど形式面ばかりが目立され、学習者の省察や指導者の関わり方が十分に議論されていない。一方、幼児教育の分野ではドキュメンテーションとして、指導者が子どもの活動プロセスを観察し、何に子どもの好奇心が注がれているか、子どもが何を考えているか、どんな疑問や挑戦が生まれたかを、子どもや同僚との対話を通して問い、考察して探究を深めていく指導技法がある。本セミナーは、ドキュメンテーションにおける指導者の関わりや求められる専門性に注目し、幼児教育における知見を参考にしながら、学習者主体の学習を実現する方法について考えたい。

本セミナーは ZOOM によるオンラインで開催します。オンライン参加が可能であることをご確認の上でお申し込みください。

オンライン参加の要件等

- ・カメラ・マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続された PC 等が用意できること。
- ・発言等ができる静穏な環境で参加できること。

2020 年 9 月 28 日 (月) 15:00 – 17:00

申込方法：下記セミナー参加申込フォームから必要事項をご記入ください。その際にご入力頂いたメールアドレスの返信をもちまして、申込完了となります。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

定員：90 名 (申込締切 9 月 14 日)

参加方法：後日参加申込された方にお知らせします。

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-3534 (セミナー専用)